

市内バスネットワーク維持に向けた取組みについて

1. 乗って支えるバス集中利用キャンペーン

地域のいきいき百歳体操などで、路線バスの現状周知、路線バスを使ったおでかけ提案、その実施状況の確認を2回1セットの取組み「乗って支えるバス集中利用キャンペーン」として実行。取組みの資料として【資料4-2】乗って支えるバス集中利用キャンペーンちらしを配布。



・北地区自治連合会総会

①4月12日(日)【参加者47名】

【路線バスの乗り方などをご存じの方】43名(91.5%)

【直近1か月で路線バスに乗った方】19名(40.4%)

②5月24日(日)【参加者31名】

【路線バスの乗り方などをご存じの方】25名(80.6%・1回目から▲10.9%)

【直近1か月で路線バスに乗った方】9名(29.0%・1回目から▲11.4%)

【おでかけプランを作成した方】2名

・久保自治会いきいき百歳体操

①5月13日(水)【参加者8名】

【路線バスの乗り方などをご存じの方】3名(37.5%)

【直近2週間で路線バスに乗った方】1名(12.5%)

②5月27日(水)【参加者6名(全員1回目にも参加)】

【路線バスの乗り方などをご存じの方】6名(100.0%・1回目から+62.5%)

【直近2週間で路線バスに乗った方】2名(33.3%・1回目から+20.8%)

【おでかけプランを作成した方】5名(83.3%)

2. 市内事業者との取組み

○ILBH でバスを考えるワークショップ【5 月 18 日（月）】

生駒市主催の創業スクール(ILBH)の卒業生が主催し、市内の民間事業者と奈良交通(株)、行政で公共交通の課題解決に向けたワークショップを開催。詳細は【資料 5-3】ILBH でバスを考えるワークショップのとおり。

オープンファクトリーでの臨時バス運行や学びのマルシェでの奈良交通ブース出展、路線バス丸ごとラッピングや深夜バスの復活など、市内路線バスの活性化に向けて様々なアイデアが生まれたため、今後具体化に向けて、市内事業者との取組みをさらに進めていく予定。

また、取組みの実施に当たっては、脱炭素まちづくり推進課と連携し、いこまSDGsアクションネットワークの支援メニューの活用を検討していく。